

附属練習船

かごしま丸・南星丸

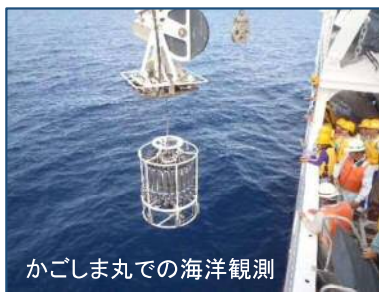


水産学部は、教育・研究施設として、かごしま丸と南星丸の2隻の練習船を保有しています。

かごしま丸は2012年3月に完成した、世界でも有数の高性能練習船です。2013年には、シップ・オブ・ザ・イヤー2012(漁船・作業船部門)を受賞しました。かごしま丸は、風浪のある洋上で定点に留まることや、船をその場で360度方向転換させたり真横に移動することができる特殊操船機能を有しています。また、電気推進システムを採用したことで、船内の騒音や振動が少なく、静粛性が高い船となり、居住性が向上しました。横揺れを低減させる船体構造や男性女性それぞれ専用の衛生設備を充実させるなど、快適で安全な船内生活の提供を実現しています。高度の海洋観測機器や多様な漁労システムを用いた洋上実習や実験・観測のプラットフォームとして、日本近海から太平洋や東南アジア海域で実習及び調査研究航海を実施しています。

南星丸は、2002年11月に完成した中型練習船で、2003年にはシップ・オブ・ザ・イヤー準賞を受賞しました。南星丸

は、鹿児島湾から薩南海域を主な活動海域として、漁業実習や海洋観測実習、漁具性能試験、航海計器や船体運動等に関する洋上実験、そして底びき網や計量魚群探知機等を使い水産資源や海洋環境の調査研究を実施しています。



かごしま丸での海洋観測



南星丸でのLCネット操業



公海域水産乗船実習

かごしま丸は、毎年、「公海域水産乗船実習」受講の水産学部2年生を乗せて、中西部太平洋海域で長期実習航海を行ないます。航海中は、操舵室での見張りや天体(太陽、星)の高度測定による船位決定などの大型船運用実務や公海域でのまぐろ延縄操業、海洋観測などの実習を行ないます。また、見学や補給のためにアジア諸国等に寄港するとともに、現地の大学や研究機関等を訪問します。寄港地で海外の大学の教員や学生が乗船して、船上で集団生活を送りながら各種の実習を行なことも多く、国際的視野を拓けるきっかけにもなります。

附属練習船 かがしま丸・南星丸

水産学とキャリア乗船実習

水産学部が新1年生に最初に提供する実習が「水産学とキャリア乗船実習」です。1年生全員が、6班に分かれて、かがしま丸または南星丸のいずれかに1泊2日の行程で乗船し、鹿児島湾内で実習を行います。



南星丸でのロープワーク実習

大型船舶の航海士養成

鹿児島大学水産学部は三級海技士(航海)第一種養成施設です。鹿児島大学水産学部から東京海洋大学水産専攻科(修了年限1年)へ進学し、必要な科目を修了した者は海技士(船長/航海士)として大型船の船舶運用に従事するために必要な、三級海技士(航海)の筆記試験免除や口述試験受験に必要な乗船履歴などの資格を得ることができます。男女を問わず、卒業生の多くが、商船、漁船、調査船等の航海士として活躍しています。



六分儀を使用した測位

かがしま丸 Kagoshima Maru



長さ(全長).....	66.92 m	定員.....	72人
幅(型).....	12.10 m	乗組員.....	28人
深さ(型).....	7.00 m	教員.....	4人
総トン数(国内)...	935 トン	学生.....	40人
総トン数(国際)...	1284 トン	航海速力.....	約12.5ノット

南星丸 Nansei Maru



長さ(全長).....	41.96 m	定員.....	30人
幅(型).....	7.50 m	乗組員.....	14人
深さ(型).....	3.30 m	教員・学生.....	16人
総トン数(国内)...	175 トン	航海速力.....	約12.5ノット